

一般質問 「アゴラによる効果について」

【質問者:議員7 議員】

「アゴラ」は市内22の全中学に開設され、生徒たちが様々な会議や話し合い、打ち合わせをする場所、空間であり、少人数で使用する場合やおおにんずうや大人数で使用する場合があります。

生徒たちが、教室の椅子や机とはちょっと違った学校の備品を使用して、話し合っている光景を実際に何度か拝見しましたが、教室とは違って、自由な感じを受ける空間であることもあり、本当に生き生きとリラックスし、目を輝かせて話し合いをしていました。

【質問者:議員8 議員】

さて、今回、この「アゴラ」を市内全小学校に開設するための、補正予算が計上されています。岐阜市内の小学校には、まだ「アゴラ」がないため、昨年、加納小学校で試行したところ、大変な効果があったと伺いました。そのため全小学校に「アゴラ」を開設することとし、主に机や椅子、エアコンなど、備品購入をするための予算が計上されたわけです。

【質問者：議員9

議員】

そこで、教育長に3点お尋ね^{たず}します。

1点目、「アゴラ」が開設された小中学校では、どんな結果が出ていますか。

2点目、小学校での「アゴラ」の活用方法、中学校ですと、自分たちで申請^{しんせい}して場所を予約^{よやく}すると思うのですが、小学校ではどんな活用をするのか。

3点目、小学校での「アゴラ」の設置^{せっち}は、子どもたちにとってどのような効果^{こうか}があるのか、将来に向けて、どのような効果^{こうか}を期待するのか教えてください。

【答弁】 教育長

【答弁者： 教育長1】

1 点目の^{せんこうじっし}先行実施^{じっせき}の実績です。

中学校では、9割の生徒は「アゴラ」が好きと答え、それを^{うらづ}裏付けるように、^{ふだん}普段は人に^{せつめい}説明するのが^{むずか}難しいと答える生徒の割合が7割近くあったものが、授業直後には2割程度に減るという^{こうけっか}好結果になっております。小学校では、ホワイトボードやタブレットを使ってすぐに^{そうだん}相談したり、自分の^{たし}考えを^{たし}確かめやすい。友だちと^{くら}比べやすく、^{くわ}詳しく内容がわかり、^あみんなで楽しくできるといったことが^あ挙げられております。

「アゴラ」での学習が、21世紀型スキルを身につける場として^{しゅたいてき}主体的、^{たいわてき}対話的な^{たいわてき}深い学びを^あ生み出し、^{がくしゅういよく}学習意欲や^{しこうりよく}思考力、^{はんだんりよく}判断力、^{ひょうげんりよく}表現力の^{じょうせい}醸成^{きわ}に極めて有用であると言えます。

【答弁者： 教育長2】

2 点目の活用方法についてです。

小学校でも中学校と^{どうよう}同様、各教科、^{そうごうてき}学級活動、^{そうごうてき}総合的な学習の時間で^{おんどくげき}の活用が考えられます。低学年では、誕生日集会や国語の^{おんどくげき}音読劇、英語での^{しんたいそうさ}コミュニケーション活動など、^{ともな}身体操作を^{ともな}伴う学習活動に多く活用されるものと考えます。

高学年では、話し合^{ものごと}って物事を決めていく学級活動など、「アゴラ」を議^{ぎろん}論する場として使^{じしゆてき}っていく中で、小学校においても自主的に活動していけるよう、指^{しどう}導していくことが必要だと考えております。

【答弁者： 教育長3】

3点目の期待する効果についてです。

「アゴラ」を中学校から始めるのではなく、より早い時^{じてん}点から取り組むことに大きな効果^{きたい}が期待できます。自分の考えをきちんと論^{ろんりてき}理的に主張^{しゆちよう}でき、多^{たよう}様な仲間との交^{こうりゆう}流の中から、よりよい方向を見つけ出していくという営^{いとな}みは、グローバル社会に生きる子どもたちに重^{じゅうよう}要な力であり、アクティブラーニングは新^{しんがくしゅうしどうようりよう}学習指導要領の目玉となっております。その空^{くうかん}間を他に先^{さきが}駆^{じつげん}け実現するのがこの取り組みであり、文^{もんぶ}部科学省も注^{かがくしやう}目しているところです。